

(別紙4(2))

事業所名:グループホームこころくばり

目標達成計画

作成日 : 令和6年 3月 7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	33	看取りケアについて、外国人スタッフもいることから死生観についての理解が難しい場合がある。	全スタッフで看取りについて向き合い支援していける体制をつくっていく。	看取り研修などを通じて理解を深めてもらうこと、スタッフ1人1人が理解していけるように、自国の例も交えながら伝えていく。 12ヶ月
2	35	新しく入職するスタッフも多く、いざ災害が発生した際に対応できないかもしれないスタッフがいる。	全スタッフが災害に対して高い危機意識をもち、実際の災害発生時にも落ち着いて対応ができる体制をつくる。	定期的な防災訓練の際などに追加で施設の非常用設備や、緊急時マニュアルなどについて説明を行っていく。 12ヶ月
3	20	ここ2年間、外出や面会などの機会を制限せざるを得ない状況が続いている。	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援をする	感染状況等、社会情勢を鑑みながら適宜、制限の緩和を実施していく 3ヶ月
4	2	ここ2年間、外出や面会などの機会を制限せざるを得ない状況が続いている。	利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう事業所として地域との関りを継続していく。	感染状況等、社会情勢を鑑みながら適宜、制限の緩和を実施していく 3ヶ月
5				ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。